

現代における学習評価の理論と実践:その可能性の探究

対面・オンライン併用開催

第1回 サドラーは学習評価論をどう体系化したか

日時 2023年6月8日(木) 17:00~18:30頃

場所 神戸大学人間発達環境学研究科 A棟4階 A427室
オンライン開催あり

話題提供者 石田智敬 氏

神戸大学大学院人間発達環境学研究科日本学術振興会特別研究員(PD)。
京都大学大学院教育学研究科 教育・人間科学講座研究員。研究テーマは学習評価。

指定討論者 友永達也 氏

神戸大学人間発達環境学研究科博士課程前期課程院生。神戸大学附属小学校教諭。

第2回 「持続可能な」評価の提案

ー小学四年生国語科「ごんぎつね」の単元と評価デザインを例にー

日時 2023年7月20日(木) 17:00~18:30頃

場所 神戸大学人間発達環境学研究科 A棟4階 A427室
オンライン開催あり

話題提供者 友永達也 氏

指定討論者 石田智敬 氏



お申し込み:右のQRコードまたは下記リンクから Google フォームの入力をお願いします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeukUOw57SBVSkkvC2ffvoX-nQgRpx8hWPLjLWn2qNdIK-GyA/viewform?usp=sf_link

ご入力頂いた内容は、本連続セミナーの運営の目的のみに使用します。

お問い合わせ:神戸大学 川地亜弥子 seminar.kawaji@tiger.kobe-u.ac.jp



○概要○

- 学習評価は、指導者・学習者がともに学びの深まりを確認するために重要なものです。現代では、自由度の高い表現に対する評価の研究も進展しています。
- 一方、日本の初等・中等教育の教科における学習評価では、評定のための記号化や数値化の議論がつきまとい、子どもたちのゆたかな学びをとらえ評価することを中心に位置づけることは難しいのではないかと疑問を持っておられる人も多いでしょう。
- 本セミナーの第1回では、石田智敬さんから、現代の学習評価研究の第一人者であるロイス・サドラーが質的判断に基づく評価論をいかに体系化したかについて、分かりやすく講じて頂きます。
- 第2回では、友永達也さんから、小学校国語科の定番教材の一つ「ごんぎつね」を素材に、実現可能性も考慮した上での学習評価について具体的に提案して頂きます。
- 学習評価の理論と実践を踏まえて、その可能性を参加者のみなさまと探究したいと思います。どうぞふるってご参加下さい。

* 第1回のみ、第2回のみ
参加も可能です。

